

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | | | |
|---------------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 「ここに在る」上伊那の学校紹介・上伊那人紹介事業 | | |
| 事業主体 (連絡先) | 郷土愛プロジェクト 伊那市荒井 3500-1 上伊那広域連合地域振興課 TEL:0265-78-2500 | | |
| 事業区分 | ③教育、文化の振興に関する事業 | | |
| 事業タイプ | ソフト | | |
| 総事業費 | 1,109,658 円 | (うち支援金：887,000 円) | |

事業内容

- 1 上伊那の高校紹介冊子の制作・配布
 - (1) 上伊那 1 1 高等学校の取材
 - (2) 各高校の現役高校生による記事作成
 - (3) 上伊那 14 中学校 3 年生 (約 2000 部) に配布
- 2 冊子の活用
 - (1) 中学生が、各高校の特色を知り、体験入学や高校選択の一助にした。
 - (2) 学校によっては、進路にかかわる授業等で、学習の時間を設けた。
 - (3) 上伊那ライフ、キャンパスライフ in 上伊那のページを利用し、高校生が進学、就職、上伊那で暮らすことについて企業人と懇話会をもった。



【 冊子を手にする 】

【目標・ねらい】

- ① 上伊那の高校の特色 (魅力) を紹介する
- ② 中学校期から上伊那で働く・暮らすことを視野に入れる

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 中学校での活用については、2校のアンケートから 100% という結果が出た。これまでにない上伊那の高校の特色の発信として、中学生に評価されたと考える。
- 2 記事の提供をした高校側も、自校について言語化したことにより、改めて自校の特色に気づく機会になった。
- 3 内容についての満足度も 85% の評価結果となり、掲載の内容が、中学生が求めている情報であったと分析している。

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ① 中学生の活用率が高かった。
- ② 中学校教師、高校教師からも高評価だった。
- ③ 高校生も活用でき、活用の仕方、活用の年齢層が上げられることがわかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

1. 中学生に行ったアンケートの自由記述の中では、『Hi!』の内容についてさらに知りたい内容が記載されているので、高校紹介のページについては、より中学生のニーズに合う改訂を行う。
2. より多くの若者への発信を考え、活用の年齢層を広げるために、上伊那の企業の仕事紹介ページや、上伊那で働く・暮らす地域人の紹介ページを増やし、就活場面や高校の授業などでの活用をめざす。
3. 保護者にも活用してもらえる機会を模索し、保護者の評価をもらう方向を考える。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある